

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 3 区分
【発行日】平成 17 年 7 月 14 日 (2005.7.14)

【公開番号】特開 2003-167854 (P2003-167854A)
【公開日】平成 15 年 6 月 13 日 (2003.6.13)
【出願番号】特願 2001-367137 (P2001-367137)
【国際特許分類第 7 版】

G 0 6 F 15/00

G 0 6 F 13/00

G 0 6 F 17/60

【F I】

G 0 6 F 15/00 3 3 0 D

G 0 6 F 15/00 3 3 0 B

G 0 6 F 13/00 5 1 0 A

G 0 6 F 17/60 3 0 2 E

G 0 6 F 17/60 3 3 0

G 0 6 F 17/60 5 1 2

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 11 月 15 日 (2004.11.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

端末装置へサービスを提供するサービス提供装置であって、
前記端末装置の利用環境を取得する利用環境取得手段と、
前記利用環境取得手段によって取得した端末装置の利用環境に関する情報に基づいて、
前記端末装置にとって快適なサービスを段階的に提供するサービス提供手段とを有すること
を特徴とするサービス提供装置。

【請求項 2】

さらに、前記端末装置からの認証情報に基づいて、任意の端末装置認証方法により端末
装置の認証を行う端末装置認証手段と、

前記端末装置認証手段による認証結果に基づいて、段階的な認証の判断結果を決定する
判断手段とを有し、

前記サービス提供手段は、前記利用環境取得手段によって取得した端末装置の利用環境
に関する情報と前記判断結果に基づいて、前記端末装置にとって快適なサービスを段階的
に提供することを特徴とする請求項 1 に記載のサービス提供装置。

【請求項 3】

前記サービス提供手段は、任意の端末装置の利用環境に関する情報の正当性を検証する
検証手段と、

前記検証手段による検証結果に基づいて、前記端末装置に対するサービスの内容を変換
する変換手段とを有することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載のサービス提供装置。

【請求項 4】

前記端末装置の利用環境に関する情報の正当性を示す情報は、端末装置によって異なる
ユニークなシリアル番号であることを特徴とする請求項 3 に記載のサービス提供装置。

【請求項 5】

前記端末装置の利用環境に関する情報の正当性を示す情報は、前記端末装置の利用環境に関する情報に対するデジタル署名であることを特徴とする請求項 3 に記載のサービス提供装置。

【請求項 6】

前記端末装置の利用環境に関する情報は、前記端末装置の表示能力に関する情報、前記端末装置の音楽の再生能力に関する情報、前記端末装置の音声の再生能力に関する情報、前記端末装置に接続されている周辺機器に関する情報、前記端末装置のネットワークに関する情報の少なくとも何れかを含むことを特徴とする請求項 1 ～ 5 の何れか 1 項に記載のサービス提供装置。

【請求項 7】

端末装置へサービスを提供するサービス提供方法であって、
前記端末装置の利用環境を取得する利用環境取得工程と、
前記利用環境取得処理によって取得した端末装置の利用環境に関する情報に基づいて、前記端末装置にとって快適なサービスを段階的に提供するサービス提供工程とを有することを特徴とするサービス提供方法。

【請求項 8】

さらに、前記端末装置からの認証情報に基づいて、任意の端末装置認証方法により端末装置の認証を行う端末装置認証工程と、
前記端末装置認証手段による認証結果に基づいて、段階的な認証の判断結果を決定する判断工程とを有し、
前記サービス提供工程は、前記利用環境取得工程によって取得した端末装置の利用環境に関する情報と前記判断結果に基づいて、前記端末装置にとって快適なサービスを段階的に提供することを特徴とする請求項 7 に記載のサービス提供方法。

【請求項 9】

前記請求項 1 ～ 6 の何れか 1 項に記載のサービス提供装置の機能をコンピュータに実現させることを特徴とするコンピュータプログラム。

【請求項 10】

前記請求項 9 に記載のコンピュータプログラムを記録したことを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

本発明は、上述の実情に鑑みてなされたものであり、利用者にとって快適であるサービスを適応的に提供できるようにすることを目的とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

【課題を解決するための手段】

本発明のサービス提供装置は、端末装置へサービスを提供するサービス提供装置であって、前記端末装置の利用環境を取得する利用環境取得手段と、前記利用環境取得手段によって取得した端末装置の利用環境に関する情報に基づいて、前記端末装置にとって快適なサービスを段階的に提供するサービス提供手段とを有することを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 0

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 2 0 】

本発明のサービス提供方法は、端末装置へサービスを提供するサービス提供方法であって、前記端末装置の利用環境を取得する利用環境取得工程と、前記利用環境取得処理によって取得した端末装置の利用環境に関する情報に基づいて、前記端末装置にとって快適なサービスを段階的に提供するサービス提供工程とを有することを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 1

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 2 1 】

本発明のコンピュータプログラムは、前記記載のサービス提供装置の機能をコンピュータに実現させることを特徴とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 2

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 2 2 】

本発明のコンピュータ読み取り可能な記録媒体は、前記記載のコンピュータプログラムを記録したことを特徴とする。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 1 3 2

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 1 3 2 】

【発明の効果】

以上説明してきたように、本発明によれば、端末装置の利用環境に関する情報に基づいて、サービスを段階的に提供するようにしたので、ユーザにとって快適なサービスを可及的に適切に提供することができる。